

2018年3月23日
株式会社 住金システム建築
代表取締役社長 生井 敏夫

九州地区で受注躍進

九州営業チームの受注が好調である。今期の通期受注高は前期7.6億円の2倍超の16億円に達し、過去最高となる見込みである。

九州営業チームは福岡を営業拠点とし、福岡・大分・熊本・長崎・佐賀・宮崎・鹿児島を対象に、地域密着型の営業展開を推進している。受注が好調の背景として、当社は、基礎を含め、発注者側が初期段階で非常に精度の高いコストプランニングが出来ること、一般工法に対して低価格で短工期であること、元請ゼネコンの監督員不足や現場の職人不足が更に深刻化し、当社の商品のニーズが高まってきたことなどが挙げられる。

同地区の今期の成約棟数は19棟。内、用途別では、工場10棟、倉庫9棟。商品別ではティオ8棟、トレオ11棟。建設地別では、福岡3棟、熊本2棟、佐賀1棟、宮崎8棟、鹿児島4棟、大分1棟である。

1棟当たりの平均床面積は2,000㎡であった。

全国の通期受注高は220億円台に達し、過去最高を更新する見込みである（前期205億円）。主たる販売先である「住金システム建築会」の2月末の会員数は、前期末より79社増え1,488社となった。内、同地区は145社である。



物件名／「海晴機械(株)工場新設工事」 建設地／宮崎県北諸県郡三股町
用途／工場 商品／ティオ 平屋／施工床面積1,650㎡
建築主／海晴機械株式会社様 設計／桜木組一級建築事務所様（宮崎）
施工／株式会社桜木組様
特記／規格型ティオの採用による低価格・短工期が評価された。